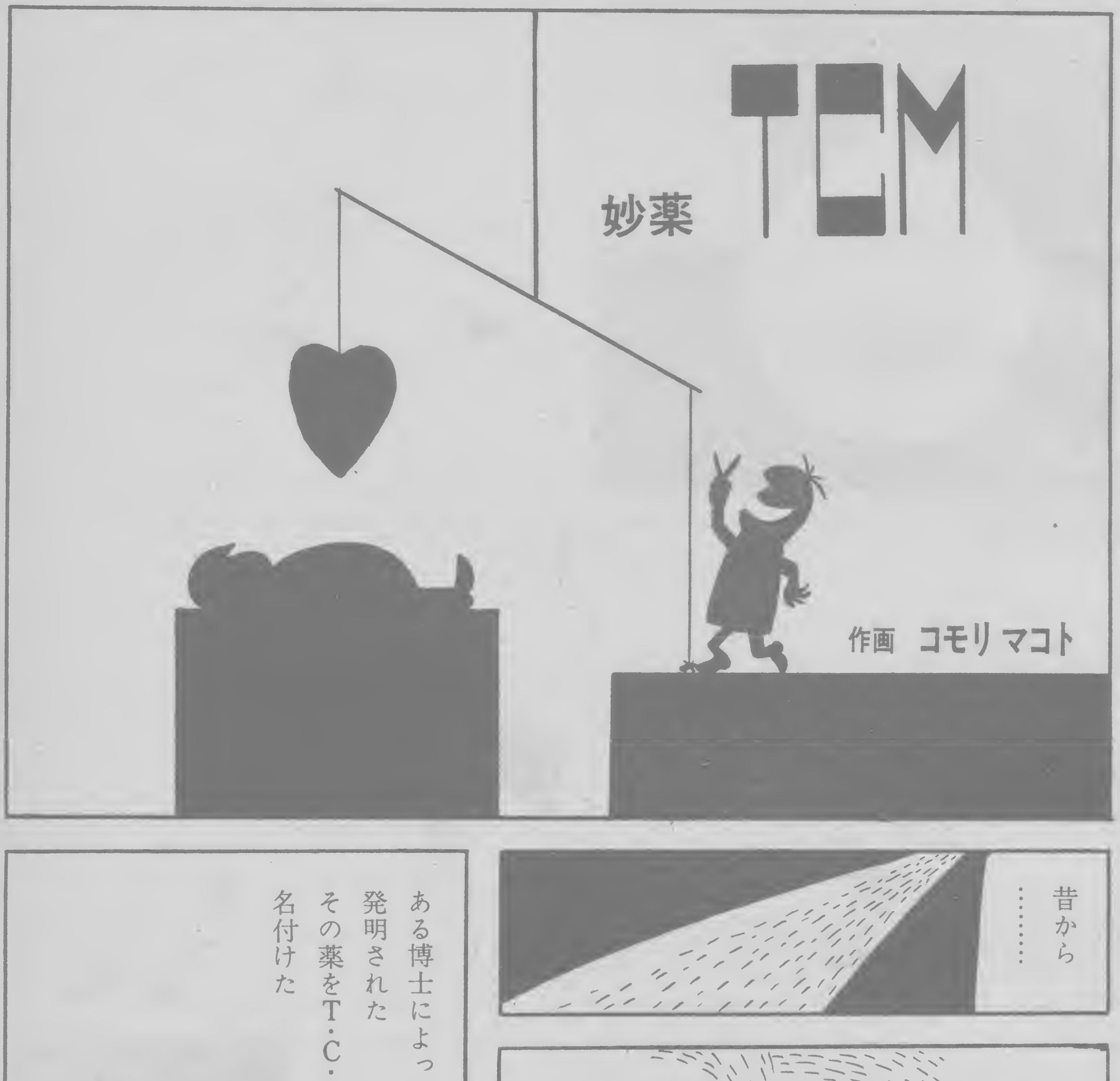

妙薬 TCM
作画 コモリマコト
昔から……
人類は心のよくなる
薬をゆめみてきた
ある博士によって
発明された
その薬をT・C・Mと
名付けた


博士は、どうして
人々に与えるかを
考えたが
なかなか………
そこでいちばん
したしい上田君
に相談した
すると上田君は………
たいへんな
ことになる
そんな薬は
早く消す
んだ
博士はやっとできた
TCMをすてるのは
いやだった
博士はひと晩中
考えたが結論は
でなかった
よく朝
博士の
家に上田君
が来た

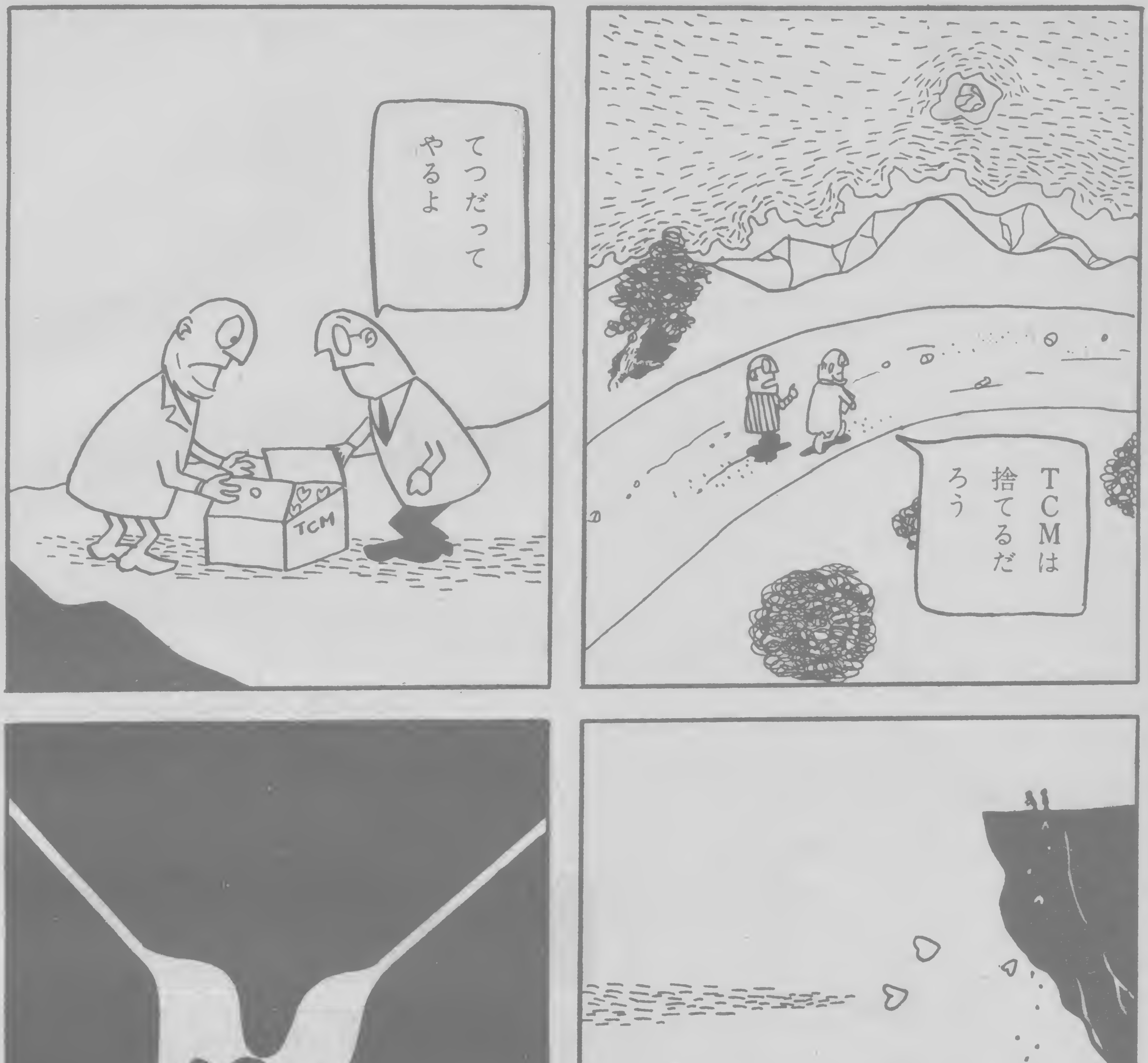

博士のやろうとする
ことがいかにおそろしい
ことか上田君はわからせ
ようとした
terrible terrible terrible
しかし
博士は承知し
なかった
上田君はしかた
なく小さな町で
ためしてみること
とにした
二人は
貯水池に
TCMをまいた
TCMは
町の家庭へ
流れて行った


効果が現われ
理想的な町に
なった
博士は
うれしかった
上田君はまだ
わりきれなかった
これでわしの
作ったTCM
も世の中に
出せる
ね
上田君は博士を
ときふせ
もうすこし
待つことに
した。
三日ほどすぎて
とつぜん町にたい
へんなことが
つぎつぎと
起こりはじめた
車と歩行者
とが道をゆずり
合って動かなくなった


人々は生命を尊び
生きものを殺すことは
いけないと感じ
蚊、ハエ、ねずみが
ふえはじめた
博士は
うろたえた……
町はさらに
ひどくなった
すでに人々は
自分の考えは
ぜったいに正しい
と信じはじめ
ていた
そのため
ひとりひとりが
勝手に行動しだ
した
やがて力のある者が
自分の考えを
むりやりに
おしつける
ようになった。


ついに町の人々は
本能を失くしてしまった
まるでぬけがらのように
博士はTCMがこんな結果になるとは思わなかった
わたしはみんなの心が良くなるように作ったんだ
それが本能を失くすことになるとは………
博士
良い心とはどんな心かわかっているのですか
ドッキン
よい心なんてものは無いんだよ
よい心の人はうそつきだよ
しかし
ぜったいにいるものだよ
……
TCM


しかし
TCMでも
だめだった
じゃないか
それじゃ
きたないまま
でもいいのか
それは
いけない
それじゃ
どうすれば
いいんだ
TCM
ぼくには
わからないよ
……
……


TCMは捨てるだろう
てつだってやるよ
TCM
あの町も終りだね
うん
おわり